

五常

編集発行
コミュニティ
協議会
広報委員会

人口
7,450人
世帯数
2,897世帯
平成24年3月現在

防災フェスティバルを実施しました

平成24年2月26日に第9回防災フェスティバルを実施し、四百名を超える皆様にご参加いただきました。

今年9回目を迎えた防災フェスティバルは、午前8時に五常校区に震度6強の大地震が発生し、校区の皆さんが自治会ごとに1次避難場所である五常小学校まで集団で移動する避難誘導訓練を第1部とし、第2部は五常小学校体育館において、御明雅之枚方東消防署長による講演と地元川越消防団や枚方市女性消防団の方々による救急救護訓練を行いました。

午前9時に自治会単位の集合場所から五常小学校に向って避難が開始され、9時10分頃から阪神淡路大震災の映像が流れる体育館に次々と参集、主催者の予想を上回る参加者に、用意した椅子が不足し、実行委員は立ち見する

ほどの盛況振りでした。

野々村会長の開会挨拶の後、竹内枚方市長から五常校区住民による自主防災活動に対する激励と、地元の野村市会議員のご挨拶を頂いた後、御明講師による講演がはじまりました。



竹内市長

講演で放映された衝撃的な映像により東日本大震災の津波による災害の巨大さ、恐ろしさを実感させられました。近い将来必ず発生するとされている南海東南海地震による津波は枚方にはとどかないけれども、「もし、その時大阪市内に居たらどうすべきか」、「家族との連絡方法」などを確認しておくことが大切だと思いました。また、直下型地震である生駒断層帯地震が起きた場合は枚方でも相当な被害が発生することなどが紹介されました。そして、震災直後は家族や隣近所の助け合いが命を救うという阪神淡路大震災のデータも紹介され、ご近所との日頃の交流や自主防災の重要性を再認識いたしました。

消防団の皆様からは、寸劇による心臓マッサージの実演と、AEDによる心臓鼓動復帰の方法が分かりやすく紹介されました。

介されました。

参加者の皆様には防災グッズとしてペン型LEDライトやアルファ化米を配布いたしました。予想を上回る参加を頂いたため、実行委員の皆様には配布出来ず、後日配布になりました。日本列島は地震活動期に入ったと指摘する学者もいます。この機会に、家具などの転倒防止、避難袋の再確認、飲料水の備蓄等と同時に、いざというときの連絡方法(例えば伝言ダイヤルの使い方など)、避難場所などをご家族やご近所で確認されてはいかがでしょうか？



満員の体育館

第22回とんど祭

平成24年1月8日(日)、第22回「とんど祭」を五常小学校の運動場で実施しました。とんど祭は、お正月の松飾りやしめ縄などを集めて燃やす伝統行事とされています。五常校区でもかつては1月15日(当時の成人の日)に行われたことが多かったようですが、今年は祝日の関係もあって8日に開催いたしました。



五百名以上の皆様にお集まり頂き、寒さを吹き飛ばす五常小学校の和太鼓クラブによる力強い演技のあと、竹内枚方市長から頂いたメッセージを野々村会長が代読し開会しました。来賓の方々からご挨拶を頂いた後、約7mの竹とわらで組まれたやぐらに、松飾りやしめ縄などをいれて、年男である辰年生まれの小学生に点火をしてもらった。

と、澄みきった青空を背景に、やぐらは勢い良く燃え上がり、新年にふさわしい行事となりました。



元気な五常太鼓

伝統行事らしく、大人には御神酒を振る舞い、参加された皆様には熱々の焼き芋、ぜんざい、豚汁を楽しんでいただきました。



「おいしいね!」

とんど点火前のペットボトルロケット発射は3基のうち、残念ながら1基が不調でしたが、初めての試みのバルーンアートは大好評でした。ツイストバルーンという細長い風船をクルクルとねじりながら作り出される剣やハートは子どもにも大人にも大人気で、長蛇の列でした。



バルーンアート

ご近所の皆様には、わらの燃えかすが飛んだり、竹のはじける音などでご迷惑をおかけしました。また、各自治会やPTAから実行委員としてお手伝い頂いた皆様、ありがとうございました。昔から、各地で人々のつながりを作ってきた伝統行事を今後とも継続していきたいと考えていますので、今後ともご支援をお願いいたします。

桜まつりのご案内

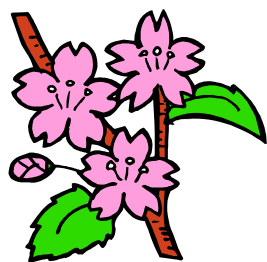
平成24年4月8日

午前11時から午後4時まで

(予定)

枚方市水道局妙見山配水池
(通称：エントツ山)

配水池は水道の重要な施設であるため、衛生上の配慮から、ペットの入場は禁止されています。



煙突は枚方市の戦争遺跡に指定されており、当日は枚方市人権政策室主催の見学会(午前11時から午後3時)が同時開催されます。

五常校区コミュニティ協議会つてなに(3)

4 校区コミュニティ協議会の役割

4-1 行政などのサポートと要請

① 枚方市の各種の委員を推薦

現代社会は「隣は何をする人ぞ」を地で行くような無関心社会、無縁社会と言われていましたが、東日本大震災で「絆」の大切さが見直され、地域を守り育てる力をアップしていく重要性が指摘されています。地域づくりには、住民から行政への意思表示など積極的な連携が大切ですが、これも地域を代表する自治会の重要な役割の一つです。



枚方市や関連団体は地域の実情に応じた安全や福祉の増進、環境保全や青少年の健全育成を促進するため、市民に防犯委員や福祉委員などを委嘱して

います。

このような委員の委嘱にあたって、

枚方市は各校区コミュニティ協議会に委員候補の推薦を依頼しています。このうち自治会活動と密接な関係のある防犯委員、福祉委員、日赤分団長、民間交通指導員および廃棄物減量推進委員については、各自治会から推進された委員を、五常校区コミュニティ協議会から枚方市に対して委員候補として推薦しています。

現在、各自治会に推薦依頼をお願いしていますので、新年度の役員改選に伴う新委員候補をお知らせください。

② 地域の身近な問題解決を要請

校区には様々な課題がありますが、これらのうち身近で、行政に対処をお願いすべき課題を、関係する担当部署に知らせるとともに、その解決を要請します。

例えば、自治会の要請に基づくカーブミラーの設置や道路文字などを交通対策協議会とともに行政に要請してい

ます。このようなきめの細かい要請が、行政の住みよいまちづくりに一役かっています。



カーブミラー

しかし、限界も多くあります。都市再生機構（UR）の空き地問題では、都市再生機構側に申し入れても埒がなかなか現状です。今後は自治会の皆様と協力して、校区の課題解決を要請していきますので、ご支援をお願いいたします。



4-2 自治会活動をサポート

間もなく新年度を迎えます。多くの自治会では会長をはじめ役員の皆様が交代する時期でもあります。自治会活動は住民のボランティアによって支えられていますが、こうした活動をサポ

ートする目的で、枚方市行政が市民公益活動災害補償保険を用意しています。日帰りの自治会活動(技能向上、親睦、趣味のための活動は除く)中に偶然起きた事故でケガなどを負った場合に保険金を支払う制度で、枚方市が保険料を負担するので、無料で加入できます。補償内容には賠償責任と傷害保険があり、保険対象期間は4月1日から翌年の4月1日までの1年間です。

五常校区コミュニティ協議会では、各自治会(理事会)の代表者にこのような情報をお知らせし、枚方市から各自治会長への保険登録案内に対してスムーズに対応していただけます。

この保険登録をしていただくことによつて、各自治会の役員の皆様が活動中の事故等でケガをされたときなどに補償がでることとなります。自治会長が交代されたときなどは必ず、新会長名で保険登録をお願いいたします。



卒業を祝うお餅つき

2月29日に恒例の「卒業を祝うお餅つき」を行いました。

このお餅つきはコミュニティ協議会が6年生の卒業茶話会にあわせて、毎年実施しています。

今年もPTA本部のほか、第四中学校区地域教育協議会も参加していただき、紅白の餡餅を卒業のお祝いとして贈ることができました。ご協力頂いた皆様



お餅つきを見守る児童

に感謝いたします。

「五常っ子見守り隊」の活動について

五常小学校児童の下校時刻に主な交差点などで黄緑色の帽子やたすきを掛けて、子どもたちに声をかけているのは「五常っ子見守り隊」です。平成16年11月に奈良市富雄で起きた小学校1年生の事件をはじめ、17年には栃木県と広島県、18年5月には秋田県で児童が犠牲となった事件が連続したことは、児童の親や学校関係者のみならず、地域にとっても深刻な動揺を与えました。当時の五常校区コミュニティ協

議会では、取り敢えず下校時の子どもたちの安全確保が必要と考え、平成18年の2学期から役員が児童の下校時間に合わせて街頭に立ち始めたのが「見守り隊」のはじまりでした。

現在は、月曜日と水曜日はPTAの皆様が、火曜、木曜、金曜日には「五常っ子見守り隊」が児童の下校にあわせて、原則として14時45分頃から16時15分ころまで見守り活動を行っています。

「五常っ子見守り隊」のメンバーは各自治会の防犯委員、民間交通指導員、五常校区青少年育成指導員およびコミュニティ協議会の役員のほか、ボランティアの皆さんで構成される約80名です。このメンバーが5班に分かれて集団下校ルートの主要地点に立ち、子どもたちへの声かけと見守りを行っています。



「おかえりっ!!」 「ただいま!!」

地域の方で子どもの安全を守りたいという強い気持ちで、寒い冬も暑い夏も、晴れの日も雨の日も、街頭に立つ活動を支えています。声かけによる子どもたちとのコミュニケーションは地域における連帯や絆をつくりあげるキツカケをつくります。子どもを見守る大人の存在は地域の温かさを象徴する

とともに、犯罪の抑止にも役立っています。見守り隊の活動は、五常校区が枚方市のなかでも犯罪発生が少ない地域になっている一つの要因であると言われています。

これからも、より多くの方が、「五常っ子見守り隊」に参加していただき、地域の安全と絆づくりに力を貸していただきますよう、お願い申し上げます。

ご協力いただける方は、西田 (TEL: 852・8764) までご連絡ください。よろしくお願ひします。



「気をつけてね!!」